

問 木造になった経緯と、面積の算定について。

答 当時の格納庫が木造であり、また姫路市に現存しているもののデザインを取り入れました。面積は、倉庫いっばいに備蓄物を入れるのではなく、内部で作業するスペースを考慮し算定しました。

公共施設

議案第 34 号 財産の取得について

(仮称) 泉こども園・北部公民館整備事業用地を取得しようとするもの。

問 地域において、残された園舎を利活用したいという要望もあるが、公共施設等適正管理推進事業債による事業で、旧園舎はなくなってしまうのか。

答 この起債の対象となる施設については、旧の保育所の面積を計上していますので、西在田幼稚園、宇仁幼稚園、日吉幼稚園、泉幼稚園の施設については残ります。学童保育等、今後の活用を検討したいと考えています。



問 公共施設等総合管理計画においては、4つの公民館は現状維持という計画であるが、なぜ北部公民館だけ新たに建てるのか。

答 老朽化する北部公民館の建て替えについては、地形的な条件から現在の場所での建て替えではなく、新たな場所への移転が現実的で、(仮称) 泉こども園の建設予定地と一体的な土地利用が図られ、また用地取得について効率的に行えることから用地購入に至りました。

討論【反対】 今、国も公共施設を集約することに重点を置いており、幼保の施設を泉こども園として集約することは賛成であるが、公民館も建てるということであれば、複合化し、1つの施設として建て、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、市の支出を少しでも減らすような努力をすべきである。

討論【賛成】 北部公民館の用地を別に時期を変えて購入することは、非常に難しい。土地の持ち主の理解を求めて承諾を得るに当たっては、町の歴代の区長による協議や、また町での会議を何度も重ね、慎重審議されたということであり、この際、この用地を購入することは良策である。

補正予算

議案第 35 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第 7 号）について

議案第 41 号 平成 29 年度加西市病院事業会計補正予算（第 1 号）について

一般会計【歳出】

- ・保健衛生総務費（3 億円）

経営支援のための病院事業会計補助金の増

病院事業会計【収入】

- ・収益的収入（3 億円）

経営支援による一般会計繰入金の増

問 病院運営の今後の方向性について。

答 地域住民が求める医療は、急性期が終わった後、しっかりと回復して在宅へ戻るための十分なりハビリも含めた療養できる身近な病院であることを再認識し、急性期と地域包括ケアのミックスした、一定の医療水準を維持できる病院としていきたいと考えています。



問 業績が悪ければ、市が助けてくれるという甘い考えを払拭するために、市からの繰り出しを補助金ではなく貸し付けとし、病院自体が借り入れし、返済しなければならないという方法にできないか。

答 市としては、補助金として繰り出しして、平成 30 年度はしっかりと頑張ってもらいたいと考えています。

討論【反対】 病院自体が新たな方向に進んでいていただきたいために、補助金ではなく、貸付金とすべきである。

討論【賛成】 地域包括ケア病棟の設置等も含めて、方針転換していくという方向が打ち出され、その改善を期待するとともに、地域の総合病院としての機能も大事であるので、この一番大変な時期に支援することは重要であり、今後も繰り入れを行って、力を合わせて病院を守っていくことが非常に重要である。

